

13. 「日本における『冬物語』」、『武蔵野短期大学研究紀要』第8輯、武蔵野短期大学、平成6年6月、ISSN:0288-8025

77-84 頁

『冬物語』の受容史を翻訳・研究・上演の項目から論じた。ロマンス劇の受容全体についても論じた。また、上演形式や和解をテーマとしていることから、歌舞伎との共通点なども指摘し、歌舞伎的な演出を施した実際の上演の分析も行なった。しかし、ロマンス劇の持っている劇構成は、悲劇・和解・喜劇といった構成が日本人好みであり、歌舞伎的な演出が生まれる背景となっていることなども論じた。巻末に本邦初の本格的な上演年表を完備した。

(B5)